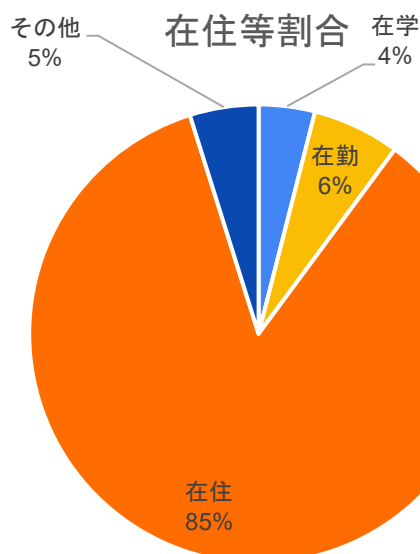
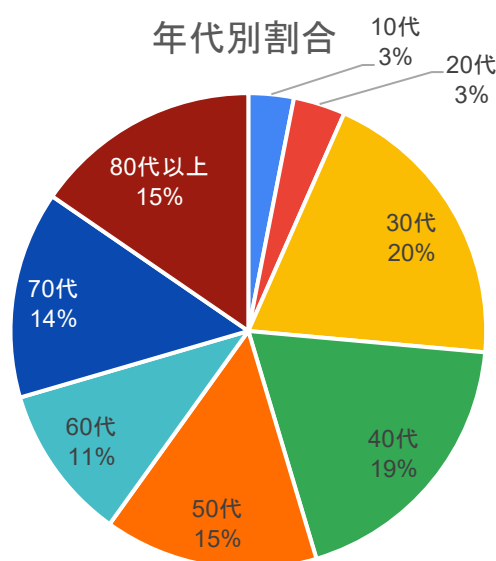


令和6年度地域の声アンケート実施年間報告

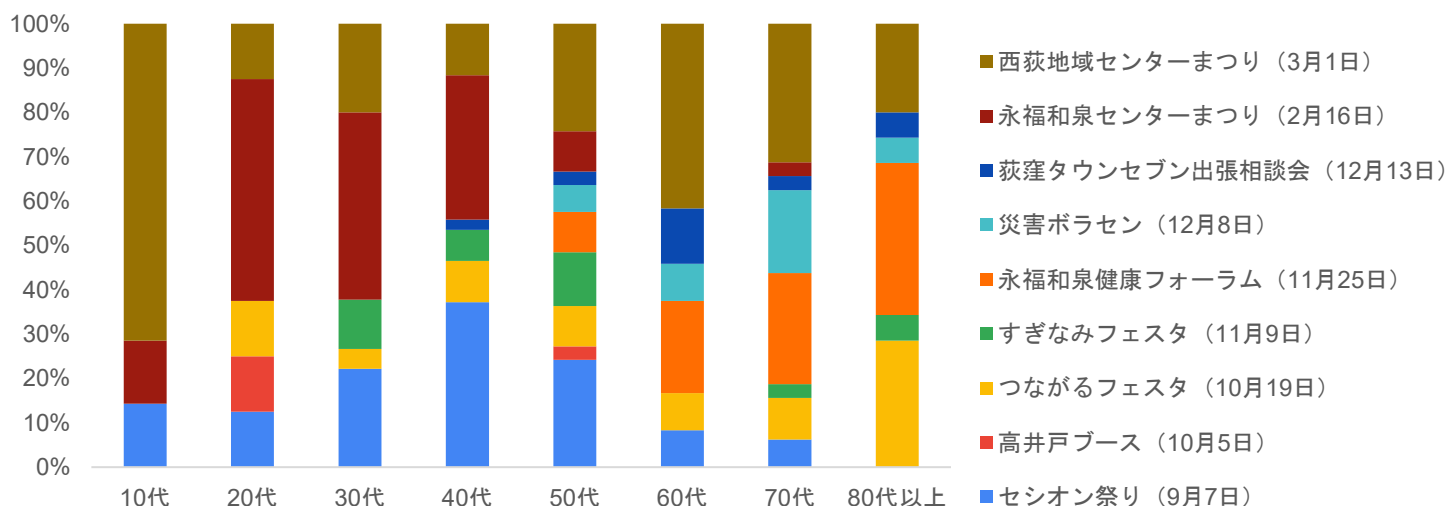
杉並区の地域課題や地域のよい所（強み）や社会貢献の参加状況、杉並にあったらよいと思う取り組みなどを把握するとともに、声なき声を受け止めるため、出張相談会時などアンケート調査を実施した。（総数227件）

<年代>

それぞれの年代で、抱えている課題、生活感、コミュニティの捉え方等意識の違いがあると思われたため、幅広い年代へのアプローチを実施し10代～90代まで協力いただくことができた。



年代×イベント グラフ



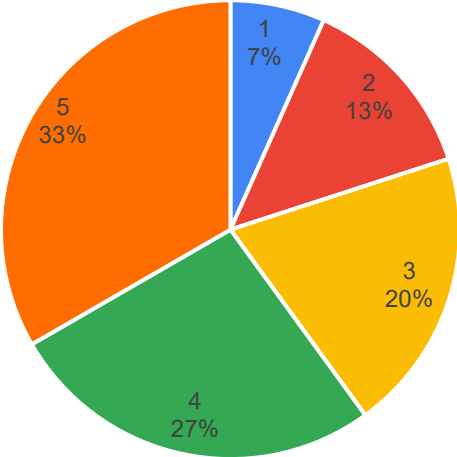
← 出張相談当日の写真 →
(浴風会つながるフェスタ)



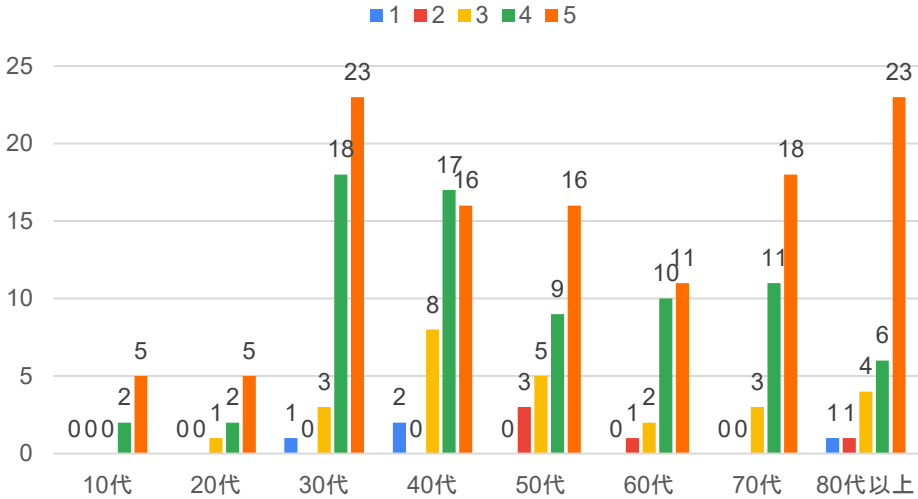
<あなたにとって杉並は暮らしやすいまちですか>

生活の不自由さは地域の課題として、よいところは強みとして地域づくりを行うため、聞き取りを行った。多くの方が暮らしやすさは感じているものの、交通の利便性による外出や買い物の困難さや災害時の不安などは複数の回答が寄せられた。

好感度割合



年代別好感度



◀出張相談当日の写真
(荻窪タウンセブン駅前広場)

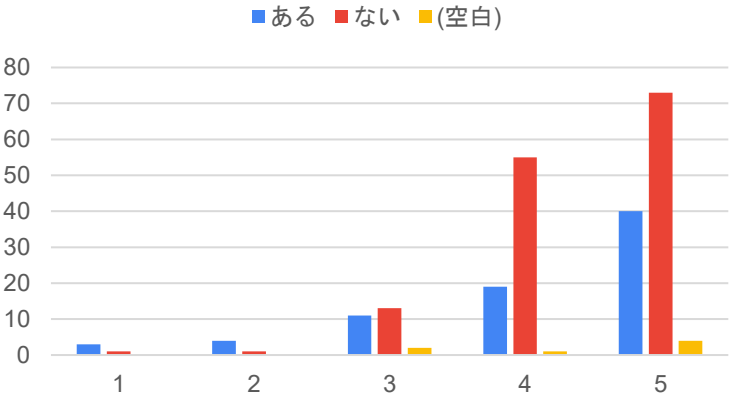
イベント参加者から→
集めた「地域の声」
(千日紅まつり)



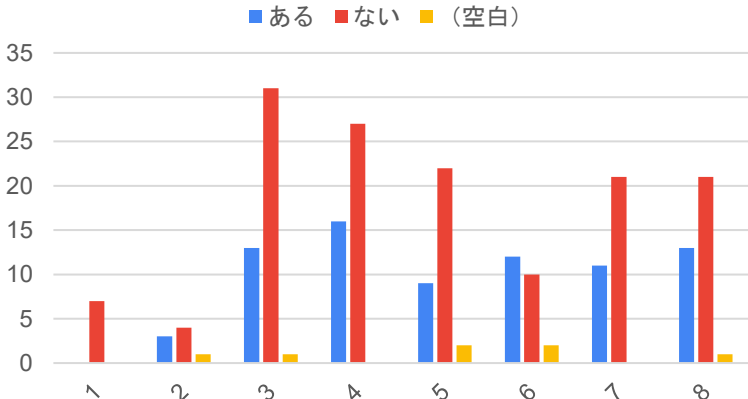
<生活の中で感じている困りごとと不安なことはありますか>

不安がないと回答した方が多くはあったが「小学生の子供の朝の預け先がない」「学校が開く時間が遅く時短勤務にせざるを得ない」など子育て環境や、一人暮らしのさみしさ、将来への漠然とした不安、物価高騰による経済苦など、ライフステージによる困りごとと不安の差異もみられた。

好感度と困りごとの関連図



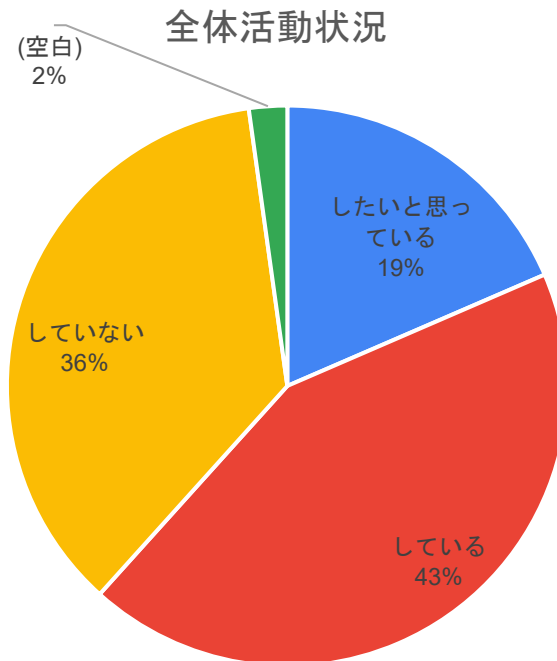
年代別困りごとと有無



<社会貢献をしていますか>

ささえ手としての社会参加状況や、想いや参加動機を把握し、地域活動に参加できる環境づくりのヒントとした。

寄附やボランティア等さまざまな形で参加をしている方が半数を超え、今後したいと思っている方と合わせると、70%の方に参加の意欲があり、機会や環境を整えることで、さまざまな形で地域活動につながる可能性が伺われた。



<地域をよくするために、杉並にあったらいいなと思う取り組み・場などはありませんか>

杉並にあったらいいなと思う取り組み・場については、どの世代であっても参加、活躍できる場や多世代で交流できる機会、挨拶や顔が見える関係づくり、地域の情報が入りやすくなる仕組みや担い手の発掘など、数多くの意見が寄せられた。

